東京都立多摩科学技術高等学校 令和 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 古典演習 古典演習 2 教 科: 国語 科 目: 単位数: 単位 対象学年組:第 3 学年 教科担当者: **必要選択者** 稲本 教科書:言語文化(数研出版) 使用教科書: 同語文化(数研出版) 使用教科書: 「共通テスト分野別対策ペーシックマスター国語 古文・漢文訂第3版」(Z会)、「3ステップオリジナル問題集 錬成古典(古文・漢文)2+」(尚文出版)、「三訂版古文単語330」(いいずな書店)、「改訂三版完全マスター古典文法」(第一学習社)、「精説 <mark>【 知 識 及 び 技 能 】</mark>生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 冒葉を選じて被極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への整義を深めようとしているとともに、言語感覚を療き、言葉を効果的に使おうとそている。 科目 古典渖習 の日標・ 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、未来の科学者・技術者として自分の思いや考えを広げたり深めた 科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯 にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に つけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思 いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとするとともに、進んで読 深めることができるようにしている。 書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 りすることができるようにしている。 領博 配 当時 思 態 指導項目·内容 評価規準 知 単元の具体的な指導目標 数 閉 単元 1 古文基礎の確認と復習 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 指導事項 【知識及び技能】 古文の読解を深めるために、古文特有のきまりや表現 読解を深めるために、古文特有のきまりや表現を理 古文の基礎の確認、問題演習 解することができる。 について理解することができている。 【思考力、判断力、表現力】 【思考力・判断力・表現力】 数材 0 0 0 0 0 0 12 内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要 旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考え を深めることができる。 教科書・副教材 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面) 【学びに向かう力、人間性等】 なり強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深 か、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わる 意見の発表や交換等 うとすることができる。 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 次の観点別評価規準に従い評価する。 単 元 【知識及び技能】 指導事項 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力】 教材 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力、人間性等】 【学びに向かうカ、人間性等】 一人1台端末の活用(場面) 定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説 2 学 単 元 2 漢文基礎の確認と復習 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 指導事項 【知識及び技能】 期 漢文の読解を深めるために、漢文特有のきまりや表現 赤解を深めるために、漢文特有のきまりや表現を理 漢文の基礎の確認、問題演習 解することができる。 について理解できている。 教材 【思考力、判断力、表現力】 【思考力・判断力・表現力】 0 0 0 0 0 0 12 内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要 教科書 • 副教材 旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考え を深めることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 一人1台端末の活用(場面) 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わる 意見の発表や交換等 うとすることができる。 次の観点別評価規準に従い評価する。 単元 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 指導事項 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力】 教材 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力、人間性等】 一人1台端末の活用(場面) 【学びに向かう力、人間性等】 2 定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説

令和 6 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 古典演習 古典演習 2 単位 教科: 国語 科 目: 単位数: 対象学年組:第 3 学年 必遇選択者 教科担当者: 稲本

教科 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり歌めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 電票を選じて養殖的に後者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への開業を示めようとしているとともに、言語感覚を齎き、言葉を効果的に使おうとそている。

古典演習 科目 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯 にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に つけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を 深めることができるようにしている。	たり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との	いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ 価値への認識を深めようとするとともに、進んで読

				領域		領域		領域		領域						配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞	書	読	評価規準		思	態	配当時 数						
	単 元 3 古文基礎の応用 【知識及び技能】	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項				次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】										
	古文特有のきまりや表現を理解し、作品の理解を深 めることができる。	古文基礎の応用、問題演習				古文の読解を深めるために、古文特有のきまりや表現 について理解することができている。										
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	0	0	0	【思考力・判断力・表現力】				12						
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考え を深めることができる。	教科書・副教材			0											
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】										
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等														
	単 元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。										
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				1						
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】									
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】										
2	定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説									2						
学	単 元 4 漢文基礎の応用	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。										
期	【知識及び技能】	• 指導事項				【知識及び技能】										
扒	漢文特有のきまりや表現を理解し、作品の理解を深 めることができる。	漢文基礎の応用、問題演習				漢文の読解を深めるために、漢文特有のきまりや表現 について理解できている。										
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】										
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要 旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考え を深めることができる。	教科書・副教材		0	0	0		0	0	0	12					
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】				l						
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深 め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろ うとすることができる。	意見の発表や交換等														
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	1			次の観点別評価規準に従い評価する。	1			ł I						
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】	1			ł l						
	【思考力、判断力、表現力】	• 教材				【思考力・判断力・表現力】	1									
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用(場面)	-					【学びに向かう力、人間性等】								
	定期考査 (第2学期期末考査)/返却と解説									2						

東京都立多摩科学技術高等学校 令和 6 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 古典演習 古典演習 2 単位 教科: 国語 科 目: 単位数: 対象学年組:第 3 学年 教科担当者: **必要選択者** 稲本 教科

【 知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり歌めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】

古典演習 科目

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯 にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に つけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を 深めることができるようにしている。	たり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との	いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ 価値への認識を深めようとするとともに、進んで読

				領域		領域						配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞	書	読	· 評価規準	知	思	態	217		
	単 元 5 古文の発展演習①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。						
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】						
	古文特有のきまりや表現の理解と応用を通して、作 品の鑑賞を深めることができる。	古文の発展演習、問題演習				古文特有のきまりや表現について理解し、作品の読解 や鑑賞を深めることができている。						
	【思考力、判断力、表現力】	・教材		0	0	【思考力・判断力・表現力】	0		0	12		
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要 旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考え を深めることができる。	教科書・副教材					ľ					
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】						
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等										
	単 元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。						
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】						
	【思考力、判断力、表現力】	- ・教材	-			【田本九、判断九、末田九】						
	【心考力、判断力、表現力】	* \$2.14	4			【思考力・判断力・表現力】						
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】						
3												
	単 元 (1)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				 次の観点別評価規準に従い評価する。			<u> </u>	₩		
	【知識及び技能】	・指導事項	1			【知識及び技能】						
743												
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】						
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】						
	単 元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。	1	1	T	H		
	【知識及び技能】	・指導事項	1			【知識及び技能】						
	【思考力、判断力、表現力】	 ・教材	1			【思考力・判断力・表現力】						
	160つの、刊刷の、公規の1	TA:10				下心, 公分 上山村 八 秋 次 八 八						
	「労びに与かる十」「明州佐」	1 女體士の活田 / 担王 \	1			「労がに白かるカー」問件体】						
	【学びに向かうカ、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】						
	定期考査 (学年末考査) /返却と解説									2		